

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成28年5月
第146号

あじがさわ

発行…青森県鰺ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰺ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報紙は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



光信公の館 オープン

5月1日、種里城跡において光信公の館オープンセレモニーが行われました。石碑前では、しおさいコーラスが「種里に咲いた花」、「白神山地」の2曲を披露し、オープニングに花を添えました。

なお、光信公の館恒例の「ぼたん祭り」は、牡丹の見頃が例年より早く、5月20日から29日まで開催されます。

3月議会
・
新議会
組織号

- 2 新議長・副議長就任あいさつ
- 3 12人による新体制スタート
- 4～5 新年度当初予算
- 6 第1回定例会の概要
- 7 議会改革委員長報告
- 8 第1回・第2回臨時会
- 9～11 一般質問（3議員）
- 12 議員の顔ぶれ

議長に一戸議員 副議長に長谷川議員を選出

4月12日、改選後初の臨時会を開き、議場において議長、副議長選挙が行われました。その結果、議長に一戸千代久議員（12票）、副議長に長谷川統一議員（12票）をそれぞれ満票で選出しました。また、各委員会委員、一部事務組合議会議員等を選任しました。議会の新構成は3ページに掲載しています。



副議長

長谷川 統一

就任あいさつを述べる長谷川副議長



議長

一戸 千代久

議場で就任の第一声をする一戸議長

地域に根付いた議会づくりを推進

平成28年4月12日に開催されました鯉ヶ沢町議会第2回臨時会において、議員各位のご推挙を賜り、副議長の大任を拝命する事になりました。このことは身に余る光栄であると同時に、職責の重大さを痛感しているところでございます。さて、少子高齢化の進展や生産年齢人口の減少、地域の賑わいの喪失

など本町を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。議会としても限られた町財政状況の中、有効的かつ効果的な行政施策への監視機能の強化はもとより、住民の声をいかに行政施策に反映させるのか、まさに地域住民に根付いた議会づくりが求められております。その為に、まさに開か

れた議会に向けてのさらなる議会改革並びにスムーズな議会運営を目指すため、一戸議長を補佐しながら誠心誠意、全力を持ってこの職務を全うする覚悟でございます。今後とも町民の皆様の一層のご理解ご協力を心よりお願い申し上げます。副議長就任のあいさつとさせていただきます。

積極的な政策提案 活力ある議会へ

議員方々の推挙をいただきまして議会議長を務めることとなりました。元より才覚もありませんし、先々を思うと不安と心配だらけであります。自信のないままの出発ではありますが、議員方々のご好意に甘えまして務める決意をいたしました。

今、当町を取り巻く状況は、人口の減少、町税の減少等厳しいことばかりです。町人口も一万人を切る日が目前に迫っています。団塊の世代が働き手から離れたとき、雪崩を打つように衰退が始まります。各自自治体は地方創生の名のもとに対策を考え、企画していますが、妙案といえるものが無いのが現実であります。当町の主力産業であります農林漁業は、後継者不足などが深刻になっていきます。若者たちに支持される魅力ある産業にしなければなりません。

執行機関でない議員には限界がありますが、行政の監視だけでなく、提案にも力を入れて行政、議会の両輪が共に町民の幸せのために、前に進むよう努力いたします。外は、新緑盛りです。四季の豊かさに負けないよう、活力のある変化に富んだ議会運営を目指します。町民の皆様に応援、力添えをお願い申し上げます。議長就任のご挨拶といたします。

就任あいさつ

議会の構成を決定

町民から選ばれた12人による新体制がスタート

議会運営委員会

議会運営委員会とは、議会運営の責任者である議長との協力的な性格を帯びた機関であるとされています。

委員会では、議会を円滑かつ効率的に運営するため、会期日程、陳情等の取り扱い、審議の方法など、議会運営全般について協議を行います。

- 委員は次の5名です。
- 委員長 新保 勝敏
 - 副委員長 鶴田 悦子
 - 委員 東條 一彦
 - 委員 洪谷 悦男
 - 委員 齋藤 孝夫

総務文教常任委員会

総務文教常任委員会とは、総務、教育、税、消防事業分野などの案件を詳しく審査し、併せて必要な調査研究をする委員会です。

- 委員は次の6名です。
- 委員長 東條 一彦
 - 副委員長 今 勝義
 - 委員 長谷川統一
 - 委員 洪谷 悦男

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会とは、建設、農林水産、水道事業分野などの案件を詳しく審査し、併せて必要な調査研究をする委員会です。

- 委員は次の6名です。
- 委員 新保 勝敏
 - 委員 齋藤 孝夫

議会広報編集委員

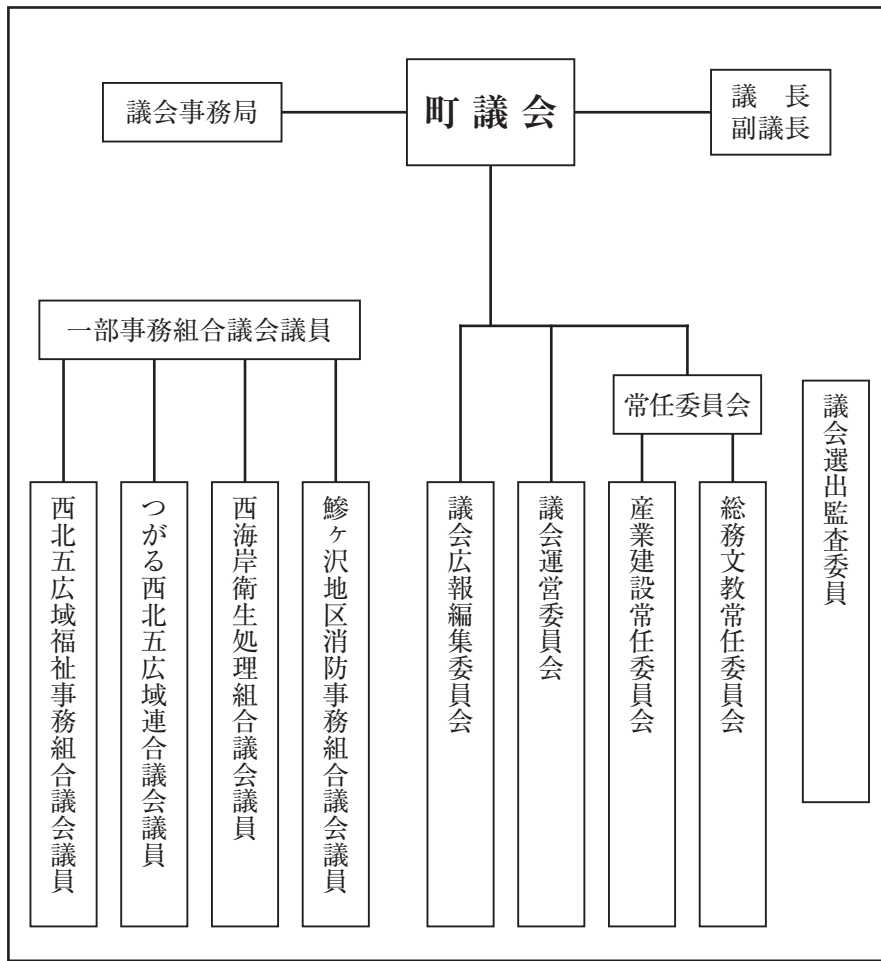
3名の委員は、議会広報あじがさわの編集事務

- 委員は次の6名です。
- 委員長 鶴田 悦子
 - 副委員長 菊谷 忠光
 - 委員 神 孝
 - 委員 世永 富也
 - 委員 坂牛 淳治
 - 委員 一戸千代久

一部事務組合議会議員

一部事務組合とは、複数の普通地方公共団体などが、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織のことです。

- を担当します。
- 委員長 東條 一彦
 - 委員 菊谷 忠光
 - 委員 今 勝義



- ◎ 鯉ヶ沢地区消防事務組合議会議員 (3名)
 - 委員 東條 一彦
 - 委員 菊谷 忠光
 - 委員 今 勝義
 - ◎ 西海岸衛生処理組合議会議員 (3名)
 - 委員 洪谷 悦男
 - 委員 今 勝義
 - ◎ つがる西北五広域連合議会議員 (1名)
 - 委員 鶴田 悦子
 - ◎ 西北五広域福祉事務組合議会議員 (1名)
 - 委員 齋藤 孝夫
 - 【議会選出監査委員】
 - 委員 洪谷 悦男
- 監査委員は、地方自治法により市町村の定数は2と定められています。また、同法により行政運営に関し優れた識見を有する者及び議員のうちから(1名)、これを選任するとなっています。先に行われた3月定例会では、増田晶夫氏を監査委員に再任しており、今回、議員から洪谷悦男氏を選任したものです。



消防庁舎完成予想図。現在、旧鱒一中野球場跡に建設中。平成29年3月完成予定

平成28年第1回定例会において一般会計予算及び特別会計、企業会計当初予算案が委員会審査を経て本会議に諮られ、原案どおり全会一致で可決されました。これにより今年度の鱒ヶ沢町の当初予算が決定しました。

新年度一般会計当初予算 新消防庁舎建設事業に7億6500万円

28年度一般会計当初予算の内容

平成28年度一般会計当初予算は、前年度より7億9600万円増の71億8000万円となっています。

増額の要因は、新消防庁舎建設事業費に

28年度一般会計当初予算

71億8000万円

前年度比12.5% 7億9600万円増

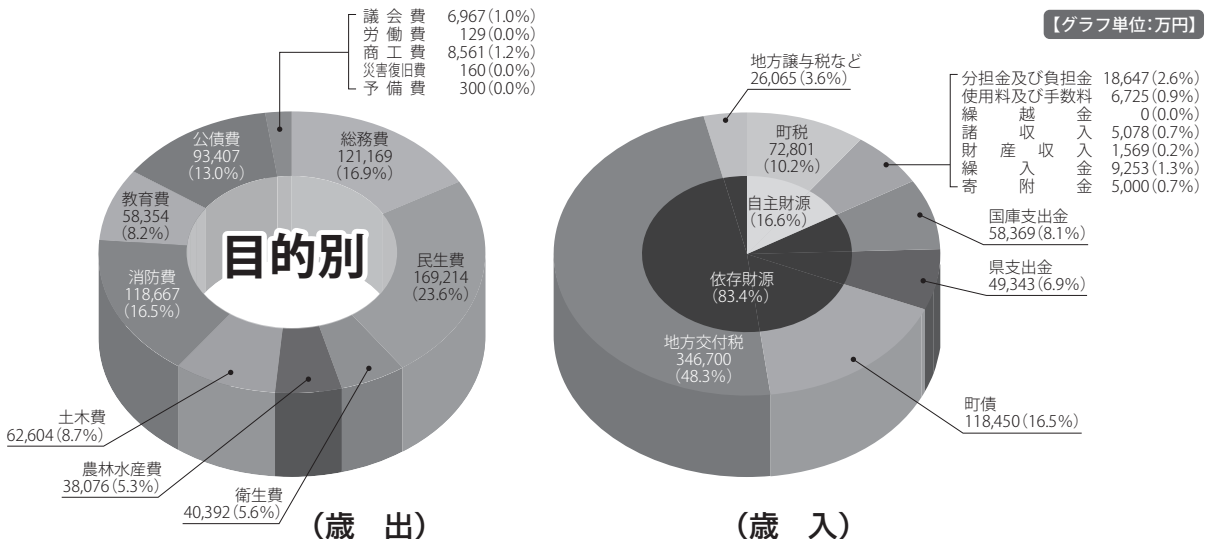
7億6557万円の歳出を計上したことによるもので、歳入においても同建設事業費に町債（債とは借金のこと）6億6080万円を計上しています。

歳入に目を転じると、自主財源となる町税の総額は、歳入の10.2%に当たる7億2800万円、昨年度とほぼ同額となっています。

また、例年、町の歳入の多くを占める地方交付税は、算定基礎の一つである人口の減（国勢調査の結果）等により大幅な減少となっていますが、歳出における公債費（借金の返済）の割合が減少しており、収支バランスを辛うじて保っている状況になっています。

なお、特別会計、企業会計は次頁に掲載しています。

一般会計予算（71億8000万円）の内訳



今年度わが町の総予算額は 120億8268万円

平成28年度一般・特別・企業会計予算

会計名	本年度予算額	前年度予算額	増減	対前年度伸率(%)
一般会計	71億8000万円	63億8400万円	7億9600万円	12.5
以下特別会計				
国保健康保険事業	19億3365万円	19億9236万円	-5871万円	-2.9
簡易水道事業	4億3048万円	3億9129万円	3919万円	10.0
農業集落排水事業	1億3293万円	1億4067万円	-774万円	-5.5
小規模水道事業	527万円	514万円	13万円	-2.7
公共下水道事業	3億3047万円	3億3656万円	-609万円	-1.8
墓地公園事業	20万円	20万円	0円	0.0
介護保険事業	16億3791万円	14億4477万円	1億9314万円	13.4
後期高齢者医療	1億1677万円	1億2609万円	-932万円	-7.4
水産業振興事業	2354万円	2488万円	-134万円	-5.4
以下企業会計				
水道事業	2億9146万円	4億3991万円	-1億4845万円	-33.7
全合計	120億8268万円	112億8587万円	7億9681万円	7.1

常任委員会の審査を経て
原案どおり可決・成立

予算特別委員会の審議

一般会計当初予算は、予算特別委員会での審議を経て本会議において決定します。ここでは、同委員会において審議された内容を一部抜粋してお知らせします。

問（長谷川議員）「あじがさわ未来応援基金の今年度の取り組みは」
答（政策推進課長）ふるさと納税の御礼品拡充を検討しているが、提供者の新規参入もあり、品目、量など交渉していきたい。

問（二戸議員）「コミュニティ助成金の事業内容は」
答（政策推進課長）鳴沢町内会連合会へテント等祭り用備品250万円と、岩谷町内会へ防災備品200万円の2件。

問（二戸議員）「こども園臨時職員の賃金が多いが、職員採用の時では」
答（総務課長）正職員採用にあたり定員管理計画等いろいろ問題があるため、しばらくは臨時職員の処遇改善に努め、対応させていただきたい。

問（長谷川議員）「青少年ホーム、体育館の光熱水費とあるが稼働できているのか」
答（総務課長）非常時の防災の拠点という位置づけであり、電気を止めるわけにいかない。

問（齋藤議員）「りんご園の防風ネット、鳥獣被害防止電気柵の費用内容は」
答（農林水産課長）防風ネットの修繕は1農家あたり200メートル、1件40万円を上限として計200万円。電気柵は、上限10万円で、計100万円を計上し、今年度初めて助成する。

問（二戸議員）「電気柵もよいが、捕獲駆除に力を入れてほしいが」
答（農林水産課長）新年度は駆除委託を週3回から

週4回へ、後継者育成として4名に対し、一人当たり20万円を助成することになっている。

問（長谷川議員）「プレミウム商品券発行にあたり経済効果の調査は」
答（観光商工課長）経済効果は大いに図られていると確信しているが、今後、町商工会と連携して詳細を調査したい。

意見（長谷川議員）「町単費の運営であれば商工会の会員店には更に割引きし協力をもらうなど、町内の経済効果がでるよう、よりよい施策の検討を」

問（長谷川議員）「大高山総合公園球場のナイター照明の状況は」
答（建設課長）調査の結果、安全上照明器具が危険ということで、27年度予算で撤去。

問（今議員）「新消防庁舎建設における1メートルの盛り土の安全性は」
答（消防長）排水処理に関して現地が低いこともあり50センチ土を盛り、そのあとにアスファルトを敷く。建設上問題はない。

問（長谷川議員）「人口減少対策として、社会教育に予算措置を」
答（町長）各公民館への職員配置はなかなか効果が出ず、新年度も巡回制の現状を継続し、取り組んでいく。

意見（長谷川議員）「施政方針にもあるとおり、社会教育は公民館を中心に活動していくということなので、地域づくりを考える上で積極的な人事運営の計画を」

問（齋藤議員）「無形文化財等組織への資金援助は間に合っているか」
答（教育課長）無形文化財保存会は設立50周年記念年にあたり、少額であるが増額の予算措置をしている。

意見（齋藤議員）「文化保存の面で大事な組織。記念年であれば、思い切った補正組んでも構わない。いろんな組織と相談しながら支援をお願いする。」



去る3月30日に行われた定住自立圏形成協定締結式で手を組む西北五6市町の首長

五所川原市と当町の間で 定住自立圏形成協定締結

平成28年第1回定例会が2月25日から3月7日までの日程で開かれました。
審議の結果、本議会に上程された各会計当初予算案、定住自立圏に関する協定案、人事案など47件の議案は、全会一致で

平成28年
第1回
定例会
2月25日～3月7日

可決・同意・承認されました。
なお、最終日の3月7日には、齋藤孝夫議員が動議により町長の兼職に係る調査特別委員会設置を提案。採決の結果、全会一致で特別委員会設置を議決しました。

けることが可能な定住自立圏を形成することを目的としています。

なお、五所川原圏域定住自立圏は、「中心市」である同市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町の6市町によって構成されています。

△公の施設の指定管理者の指定
主に集会所として使用されている町の施設（29施設）の指定管理者として、実質的に当該施設を管理している町内会を指定したものを、
指定期間は、5か年。

平成28年第1回定例会に上程された当初予算案を除く主な議案は次のとおりです。

▽定住自立圏の形成に関する協定の締結
人口定住を広域的かつ自立的に考える観点から、中心市宣言を行った五所川原市と、当町が協定を結ぶもの。

自治体の枠組を越えて、都市機能及び生活機能の確保、充実を図り、住民が安心して暮らし続

▽町監査委員の選任
任期満了に伴い、増田晶夫氏（舞戸町）を再任するもの。任期は4年。

▽町固定資産評価審査委員会委員の選任
任期満了に伴い、富田重基氏（本町）及び齋藤博氏（中村町）を再任するもの。任期は3年。

町長の兼職になった経緯は 調査特別委員会を設置

東條町長が、平成24年11月20日から本年3月4日までマルイチ工業(株)の取締役就任していたことが明るみに出たことを受けて、議会では町長の兼職を調査するため特別委員会を設置。委員長に一戸千代久議員、副委員長に齋藤孝夫議員を選任し、計4回にわたり委員会を開催しました。

町選挙管理委員会から兼職禁止に関する審査報告を受けています。
なお、同委員会は、議員の任期が本年の3月30日までとなっていたことから任期満了により自動消滅という形となりました。

町選挙管理委員会の 最終判断

次の理由により兼職（地方自治法が定める兼職による失職）には該当しない。
●本件法人の町からの請負金額が兼職の基準を大きく下回っていること
●町からの請負事業以外にも幅広い事業を行っていること

町選挙管理委員会の判断を仰ぎました。
3月30日には、最後の委員会を開き、マルイチ工業担当者からの文書回答を確認するとともに、
●取締役就任前から町からの請負金額に影響がみられないこと
●本件法人から報酬が支払われていないこと

町民に開かれた議会を目指して 当町では初の夜間議会を開催



報告をする一戸委員長



昨年の9月議会ですべて初めに行われた夜間議会（一般質問）。いつもより多くの傍聴者が訪れました。

議会改革特別委員会委員長報告

平成28年第1回定例会最終日、議会改革特別委員会の一戸委員長が審査経過を報告しています。このページでは、その報告内容を皆さんにお知らせします。

夜間・休日議会の開催

町民の方にもっと議会に関心を持っていただくこと、また、議会傍聴機会を拡大することを考え、平成27年第3回定例会において当町では初となる一般質問の夜間開催を実施しました。

今後さらにもっと町民の要望に応えるべく検討を重ねていきます。

模擬議会の開催

中学生を対象とした模擬議会を開催するため、学校教育計画に支障を来



委員会の審議風景

鯨ヶ沢町議会改革特別委員会

平成27年第1回定例会において組織。定数は7名。模擬議会の開催、夜間・休日議会の開催、議員定数及び議員報酬の3項目を調査検討事項とし計7回、委員会を開催。委員は次のとおり。

・委員長	一戸千代久
・副委員長	鶴田悦子
・委員	齋藤孝夫
・委員	今勝義
・委員	渋谷悦男
・委員	長谷川統一
・委員	東條一彦
・オブザーバー	新保勝敏 議長

たさぬよう配慮し、学校側へ実施のお願いをしています。

学校側から前向きな対応をいただいております。今後も引き続き実施に向けて要望することとさせていただきます。

議員定数及び議員報酬

検討の結果、議員定数は現状維持とすることで、全員一致の考えです。

しかし、議員報酬については、現在の町の財政状況から現状維持とする

意見、これまでの報酬を削減してきた経緯を踏まえ、一定額に引き戻すべきであるという意見に2

分されていますが、議論を重ねた結果、今回は現状維持となっています。その他の検討事項

その他の検討事項

・平成27年第1回、2回、3回議会で実施した傍聴者のアンケート内容についての精査。

・議会のライブ中継の配信、議案等のペーパーレス化に向けタブレット端末の導入。

町長の不信任案を否決

3月18日に行われた第1回臨時会で議員発議として町長の不信任案が提出されました。不信任案の趣旨説明、同案に対する反対、賛成討論の内容及び採決の結果は、次のとおりです。

発議第1号「鯨ヶ沢町長の不信任案」趣旨説明

齋藤孝夫議員

発議第1号の趣旨説明を行います。

町長は、地方自治体の長がその自治体と請負契約を結ぶ会社の取締役を兼ねることなどを禁じている地方自治法第142条の規定に抵触していると思われま

す。

第2回調査特別委員会の調査の後、報道関係者に対してマスコミが騒いでいるだけ、わからなかったのでしょうかない、問題ないと思っ

しくない。

以上のことから町長として信任することはできないので、不信任案を提出するものであります。

発議第1号に対する反対討論

洪谷悦男議員

町長の不信任決議は、制度の趣旨を十分理解し、権限の発動にあたっては特に慎重でなければなりません。

単に感情に走って政治的抗争、あるいは自らのパフォーマンスの手段として、これを乱用することはできません。行政の停滞をきたし、結局は住民の損失、町のマイナステルとなることに十分留意しなければなりません。

からの調査に関する報告を受けてない段階での不信任案にこのような大義はあるでしょうか。新年度の予算も可決され、これから元氣あふれる町再生の新たなスタートとして鯨ヶ沢町総合戦略プラン、その実行の時でありま

す。また、議会の不信任決議は、住民に代わって不信任の意思を表明するものでありますから、住民の考えと一致し、その理解と支持を得られるものでなければなりません。

議会でも特別委員会を設置しましたが、行政側

招く行為には断固して反

第1回臨時会

28年第1回臨時会が3月18日に行われ、上程された工事請負契約の締結(新消防庁舎)は、審議の結果、全会一致で可決されました。

可決された議案の内容は、次のとおりです。

新消防庁舎建設工事の契約にあたり指名競争入札をした結果、(株)マルノ建築設計(弘前市)と契約を締結することにしました。契約金額は、5億8320万円。

第2回臨時会

28年第2回臨時会が、

対するものであり、議員各位のご賛同をよろしくお願い申し上げます。発議第1号に対する賛成討論

鶴田悦子議員

齋藤議員の趣旨説明のとおりに、町の長として、発言から罪悪感もなく、また、責任感も感じられないことで長としての資質を欠くものであり、ふさわしくないと

思います。

第1回臨時会

4月12日開かれました。本臨時会には、条例改正案のほか農業委員会委員の任命、副町長、監査委員の選任など20議案が上程されました。

審議の結果、全議案とも全会一致で可決、同意、承認されました。主な議案の内容は次のとおりです。

▽農業委員会委員の任命 14人を任命。任期は3年。

※農業委員会等に関する法律が一部改正され、これまでの選挙による選出から市町村長の任命制へ変更されました。選出方法は町長が議会の同意を

す。よって町長に対する不信任案には賛成するものではありません。

【採決の結果】

賛成者は、齋藤孝夫議員、鶴田悦子議員、今勝義議員の以上3名。よって、賛成者少数のため町長の不信任案は否決。

を得て任命することとなります。

▽副町長の選任

副町長として新たに佐藤薫氏を選任するもの。(主な経歴)

町議会事務局長、鯨ヶ沢病院事務局長、総務課長などを歴任。



佐藤 薫 副町長

▽監査委員の選任

議会議員から選任されている監査委員に洪谷悦男議員を選任するもの。

一般質問とは、定例会において町政における一般事務について質問したり、施策の提言をしたりすることです。今定例会の一般質問の内容をお知らせします。



鶴田 悦子議員

虐待、いじめへの学校の対応は 答へ早期発見に努め、子供の安全を守る

見法とは何か、具体的に

お話しください。

答弁・教育課長

普段から生徒とコミュニケー

ションをとり、生徒のちよつとした変化、

例えばあざがあれば、声

をかけるという姿勢で、

先生と生徒が日常的にコ

ミュニケーションをとり

ながら生徒が相談しやす

い体制をつくることにし

ています。

問・教育長の考えは

答弁・教育課長

児童虐待、例えば親の

暴行や子育て放棄に対し、

子供たちの学校での様子

を担当が見る。また、健

康診断で学校医と一緒に

体の様子を見て、あざ等

があると、学校から教育

委員会や町福祉担当に連

絡が入ります。

次に児童相談所等、各

機関が協力し合い、虐待

の事実等を確認する。

このように子供を守つ

ていく対応をしています。

いじめ問題に対す

る町内小中学校の

教師の実態は

問・いじめの中心になつ

ている児童生徒の有無を

念頭に置き、学校経営し

ていけば、いじめ問題が

集団気候として把握でき

るものですが、町内小中

学校の教師の実態はどう

なっていますか。

答弁・教育課長

町内の全学校でいじめ

防止に関する学校基本方

針を策定しています。

組織的な対応のため教

職員を中心に構成された

「学校におけるいじめの

防止等の対策のための組

織」を常時設置し、いじ

めに関するわずかな兆候

や懸念、生徒児童からの

訴えを教職員が一人で抱

え込まずに、全て組織に

報告、相談し、組織的に

対応するようにしていま

す。

また、いじめの早期発

見のため、児童生徒及び

保護者を対象にアンケー

ト調査を実施し、様々な

問題を初期のうちに解決

するようにしています。

いじめ防止に対す

る教育委員会の対

応は

問・町いじめ防止基本方

針に従って各校へ対応し

ていると思いますが、そ

の状況を教えてください。

答弁・教育課長

学校基本方針に基づき

実施されているかどうか

幅広く学校から情報を得

ながら、いじめの防止、

早期発見に努め、ポス

ターや学校だよりなどで

いじめ防止の啓発、啓蒙

を図っているところです。

その発見方法を教えて

ください。

答弁・教育課長

学校では、先生が昼休

み中に巡回するとか、授

業の前に早めに行き、生

徒の様子を見る、登下校

の際には玄関で様子を見

るなど早期発見のためい

ろいろやっています。

問・教育委員会では、い

じめについて調査を何回

かやっているようですが、

その調査内容と結果、ま

た、質問の総括として教

育長のお考えをお聞きし

ます。

答弁・教育長

親と子の信頼、先生と

子供、子供たち同士の間

頼関係によりいじめる心

を断つことが、まずス

タートと思っています。

各学校においては、ア

ンケート結果を先生方が

共有し、生徒指導や学校

のいじめ防止委員会で検

討しており、いじめが出

た場合は、子供同士、あ

るいは保護者も交えて話

し、小さな芽のうちに摘

むよう努めています。

アンケート調査は、学

期末ごとに実施していま

すが、からかいなどの件

数は、二、三件程度です。

そのことについては、

毎月一回開催する校長会

で、その後の経過を確認

し、エスカレートしない

ように初期段階で解決す

るよう心がけています。

また、各学校に心のケ

ア相談員を配置し、別室

にて相談を受けています。

結構訪れていて、子供の

心を癒しているというこ

とです。

その相談については学

校に報告後、校長から連

絡が来ます。

これからも重大事態に

ならないよう学校訪問や

P T A、地域の協力も仰

ぎながら、いじめはあつ

てはならないということ

でやっていきたいと思っ

問・日常の変化とはどう

いうものか、また早期発

見法とは何か、具体的に

お話しください。



齋藤 孝夫議員

地域公共交通網形成計画の進捗状況は 答〈平成29年の運行を目指し準備段階〉

土砂搬入の一連の経緯と目的は

問・旧鱒ヶ沢第一中学校、大高山ニュータウン予定地に搬入されている土砂について、その経緯と目的を説明願います。

答弁・総務課長

旧鱒ヶ沢第一中学校に運搬した盛り土については、新消防庁舎建設に伴うものです。

建設予定地である野球場跡地は、向かいの旧一中の校舎と比べると1メートル程地盤が低く、盛り土をせず現状のままです。工事を行う場合、高低差により排水対策に支障を来します。

また、消防車両の緊急出動の際、特に冬の路面凍結時にも支障を来す恐れがあります。そのような時、国から鱒ヶ沢道路

改築事業に伴い相当量の残土が発生したため、利用可能な公共工事があれば受け入れ可能かとの依頼がありました。

設計業者と確認したところ、十分使用可能と判断し、受け入れを決めました。土の利用は5千立方メートルで既に受入れ完了し、建設工事費の負担も減じられました。

答弁・建設課長

大高山への土砂搬入は、残土の一時仮置き場として国から協力依頼がありました。

搬入予定の土量は約6万立方メートル、期間は3年間です。

町としては鱒ヶ沢道路の工事進捗に影響が出ないよう、土地の広さと運搬可能な町有地を検討した結果、大高山ニュータウン予定地が適地と判断し、平成27年12月、国と

土地使用契約を結びました。

貸付面積は1万8492平方メートル、使用料は無料ですが、仮置き場の土の流出を防ぐことなどを条件に付しました。

問・搬入された土が消防署建設の埋め立てに使用されるとは聞いておらず、盛り土についての話もなく、町民に聞かれても知らないのでは説明もできない状態でした。議会に説明があってもよく、議会軽視と感じるが。

答弁・町長

大高山付近の道路に泥がたまっていると、実際に町民から苦情がありましたので、国に対して、再度このようなことがあった場合は、搬入を止めることにすると申し入れをしています。

決して議会を軽視したということはありません。

七里長浜港サイロ(貯蔵施設) 構想とは

問・七里長浜港を飼料用米を積み出す拠点にするサイロ構想の記事が出たが、その経緯と進行状況を説明願います。

答弁・政策推進課長

飼料をつくるための原料を世界各国から輸入し、飼料メーカーに届けている会社が提案した構想です。昨年11月に、提案会社、飼料米農家や県、町など関係者が現地確認し、意見交換をしています。

年明け後は、会社側で冬の現場を見たいと2回訪れています。

津軽地域の米を中心とする産業振興や流通にとつて大きな提案であると思っており、実現できるように町も取り組んでいきたいと考えています。

地域公共交通網形成計画は順調か

問・スクールバス、循環バスの地域公共交通網形成計画はしつかり進んでいるのか、予算的には目途はついているのか、説明願います。

答弁・政策推進課長

計画は公共交通会議で了承され、平成27年度内に策定となる運びです。

本計画は、町内の路線バスとスクールバスを一本化したコミュニティバスを走らせる内容で、他町村へ走る広域的な路線は従来どおりバス会社で運行します。

コミュニティバスは来年の29年4月の運行を目指し、28年度は運行開始に向け、事業者の選定、路線図、ダイヤの作成、バス停の設置、住民説明等を予定しており、準備作業に万全を期していきたいと思っています。

予算は、これまでのスクールバス、路線バスに係る経費より若干ふえる

ことにはなりますが、財政的には確保できるものと見込んでいます。

問・この事業に関しては、町民も関心を持っており、期待しています。町内2社に委託すると記事にありましたが、指名競争入札は2社でもできるものですか。

答弁・総務課長

町関連規則により、なるべく5社程度とありますが、複数業者でも可能となっていて、できません。意見・町民に誤解のないよう説明してやっていただきたい。

また、生徒と社会人の乗り合いにより発生する問題も積極的に解決し、スムーズに運行できるように頑張ってください。

※齋藤議員はこのほかにも次のような質問をしています。

◎町独自にPPPや人口減少対策の予算確保の計画は考えているか。
◎町道赤石溪流線の復旧進行状況について、経過と現況は。



一戸千代久議員

域学連携の成果と今後の方針は

問・域学連携事業は、若い学生の知識、人材力を借りて地域の活力を創出するための事業です。

学生、地域住民にとって交流することにより何か新しい発見等があったのか検証し、次に繋げていくものがなければ域学連携の目的を果たしたとは言えません。

地域振興、交流人口の拡大、経済の活性化とどんな繋がりがあるのかと考えるとき疑問を感じざるを得ません。

域学連携によるこれまでの成果はどんなものがありましたか。

答弁・政策推進課長

域学連携事業の目的としては、地域振興、交流人口の拡大、地域経済の

域学連携による地域活性化の成果は 答へ双方の利となる町課題を優先に取組む

活性化のみならず、それに加えて、タウンプロモーション、定住促進など様々なまちづくりの要素も含んでいるものと考えています。

これまでの成果としては、平成25年度から毎年度6大学から60、70人の学生を受け入れています。知名度が高くない当町

を知り、親しみを持ってもらう。交流人口の拡大を目指す観点から学生が町に来ること自体が一つの成果と考えています。また、住民にとって交

流機会の拡大によりいろんな刺激、元気をもらい、その結果、地域の活性化につながっていると考えています。



駅前観光案内所の改修作業の様子

学生の提言で町の取り組みに反映されたものとしては、高齢者と買い物難民という問題解決のための買い物支援バスの走行。

駅前観光案内所の改修、リフォーム。旧山田野演習場兵舎の調査、老朽化の応急的な補強作業。

町のPRポスターやパンフレット(負けらいね新聞は、ふるさと大賞審査員賞受賞)作成などの実績があります。

そのほか種里城跡内の案内板や城跡の復元模型、CG制作に取り組み、館の展示物の充実に資しています。

また、大学祭で町の物品をPRする等の取り組みもあります。

問・域学連携の今後の方針と計画はどのように考えていますか。

答弁・政策推進課長
また、新規の大学も受け入れていきたいと考えています。



学生が設計デザインした館上り口前の新看板

意見・町が当面悩んでいるとか、困っているようなものを大学に提示し、継続的に調査してもらえないものですか。

目的意識を持って、行政側から求めてもらいたいと思います。

例えば、海洋資源の回復を漁業と一体となって求めていくなど、地域経済、産業が発展するよう

なものを学生の力を借りてほしいと思います。

改選後の議員の顔ぶれ

《任期4年：平成28年3月31日～平成32年3月30日》

 <p>長谷川 統一 当選 2回(現) (住所：南浮田町) 47歳</p>	 <p>東條 一彦 当選 2回(現) (住所：舞戸町) 40歳</p>	 <p>菊谷 忠光 当選 1回(新) (住所：本町) 51歳</p>
 <p>新保 勝敏 当選 5回(現) (住所：舞戸町) 69歳</p>	 <p>今 勝義 当選 5回(現) (住所：舞戸町) 64歳</p>	 <p>渋谷 悦男 当選 2回(現) (住所：舞戸町) 66歳</p>
 <p>齋藤 孝夫 当選 6回(現) (住所：舞戸町) 62歳</p>	 <p>鶴田 悦子 当選 6回(現) (住所：舞戸町) 83歳</p>	 <p>神 孝 当選 6回(元) (住所：湯舟町) 67歳</p>
 <p>一戸千代久 当選 4回(現) (住所：中村町) 74歳</p>	 <p>坂牛 淳治 当選 10回(現) (住所：舞戸町) 62歳</p>	 <p>世永 富也 当選 6回(現) (住所：赤石町) 75歳</p>

無投票により
12人が当選

任期満了に伴う鯉ヶ沢町議会議員一般選挙が3月22日告示されました。その結果、立候補者が定数(12人)を超えなかったため立候補した12人全員の無投票当選が決まりました。
内訳は、新人1人、元職1人、現職10人です。

鯉ヶ沢町議会
議員一般選挙